

(1)事業の概要等

事業番号	B0701-2
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	個別歯科健診事業(青年期保健事業)					担当部			健康生きがい 支え合い推進部		
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和7年度以降			担当課			保健センター		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	7	展開 方向	1	担当係			成人保健係		
	予算区分	一般会計	款	4	項	1	目	4	大	3	中	2
	根拠法令 ・個別計画	・健康増進法 ・健康日本21 ・小牧市まちづくり推進計画 ・健康こまきいききプラン					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	若い頃からかかりつけ歯科医の推進を図り、その後の定期的な歯科健診につなげ、歯周疾患を予防することができるよう、20歳から35歳の5歳刻みの市民を対象に、個別歯科健診を実施します。これにより、歯科疾患の早期発見、早期治療につなげるとともに、口腔ケアに関する意識を高め、歯・口腔の健康づくりに向けた行動を促し、健康寿命の延伸につなげる。										
	対象 (何・誰を対象に)	20歳、25歳、30歳、35歳の市民										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	■令和4年度実施内容 ・対象者に個別通知を行い、市内の実施歯科医療機関における歯科健診を実施。 ・若い世代が、より早い時期からのかかりつけ歯科医の定着を図ることを目的に、個々の都合に合わせて市内の実施歯科医療機関で歯科健診を実施している。 ・周知方法として、令和4年度は個別通知の他、広報に掲載するとともに、ホームページやLINE等市公式のSNSを活用し、市民の目に留まりやすい方策を検討し、実施。また、子ども政策課と連携し、成人式におけるデジタルサイネージを活用するなど、機会をとらえて周知啓発を行った。 ■直接経費(令和4年度) ・印刷製本費 119千円 ・委託料 2,651千円 計 2,770千円										
受益者負担	無											

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5	
事業費	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	555	641	2,704	2,770
			国・県支出金	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
		計(A)	千円	555	641	2,704	2,770		
		対前年比	%	—	115.4%	421.8%	102.4%		
	予算額	千円	3,063	2,814	4,133	5,421	5,561		
人件費	正規職員	人							
	正規職員(平均賃金)	千円	0	0	0	0			
	その他職員	人							
	その他職員(時給×時間)	千円							
	計(B)	千円	0	0	0	0			
事業費合計(C=A+B)		千円	555	641	2,704	2,770			

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	7	展開方向			1
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1								
2								
3								

指標	指標ほか		単位	R1	R2	R3	R4	R5	
	成果指標		目標						
			実績						
			目標						
			実績						
	活動指標	歯周病予防個別健診受診率	%	目標	↗	↗	↗	↗	↗
			実績	4.4	5.2	7.4	7.6		
		受診者数	人	目標					
				実績	80	91	500	506	
	単 位 あ た り 事 業 費	受益者数(a)		人	80	91	500	506	
受益者あたり事業費(=C/a)		円	6,937	7,043	5,408	5,474			

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>青年期保健事業における個別歯科健診事業は、20歳・25歳・30歳・35歳を対象に実施する個別歯科健診であり、より若いうちからかかりつけ歯科の定着化を図り、全身疾患とも関係の深い歯周疾患対策につなげることができるよう、環境整備を実施している。</p> <p>本事業はこれまで35歳の市民を対象に実施していたが、令和3年度に対象者の拡大を行い、その結果、受診者数は約5.5倍を示す結果となった。課題としては、受診率の伸びが緩やかな点が上げられ、更なる周知が必要と考える。</p> <p>令和4年度は、世代の特徴を捉え、SNSを活用した周知等を実施した結果、コロナ禍ではあるものの令和3年度の結果を維持する結果となった。</p>					
		今後の実施内容	<p>歯周病は、全身の健康状態に深く関係しており、自覚症状がないまま悪化するため、早期からの対策が重要である。</p> <p>本事業は、若い世代が自身の都合に合わせ、近隣の実施歯科医療機関において歯科健診を受ける環境を整えることで、より早いうちからかかりつけ歯科の定着化を推進し、自身の口腔内の把握や歯科疾患の早期発見、早期治療、また正しい知識の啓発を行うことにより、歯・口腔の健康づくりに向けた行動変容につなげることが可能であることから、本事業は今後も継続が必要である。今後も引き続き、機会を捉えた周知啓発を実施していきたいと考える。</p> <p>R6 予算(実施計画計上) 総事業費 4,294千円(一般財源:4,294千円) (内訳)10節 印刷製本費:167千円、11節 通信運搬費:460千円、12節 委託料:3,667千円</p>				
事務事業評価による額	千円	節	細節	細々節			